

令和2年度一般会計予算主要事業

令和2年3月

西米良村総務課

令和2年度西米良村一般会計予算の概要

I 令和2年度一般会計の概要

① 一般会計予算規模	25億72百万円	(31当初比	△385百万円・△13.0%)
② 自主財源	9億38百万円	(31当初比	△155百万円・△14.2%)
③ 依存財源	16億34百万円	(31当初比	△256百万円・△13.7%)
④ 義務的経費	8億35百万円	(31当初比	45百万円・5.7%)
⑤ 一般行政経費	11億20百万円	(31当初比	△38百万円・△3.7%)
⑥ 投資的経費	6億17百万円	(31当初比	△497百万円・△44.6%)

II 主な財政指標

① 一般財源総額	18億79百万円	(31当初比	134百万円・7.7%)
※臨時財政対策債を含む			
② 一般財源比率	73.1%	(31当初	59.0%)
③ 地方債依存度	9.7%	(31当初	17.0%)
※臨時財政対策債を含む			
④ 村債残高見込	23億65百万円	(31末見込	23億36百万円)

III 普通交付税の見込み

① 基準財政需要額見込	<u>11億11百万円</u>	(31実績比	△3.6%)
→個別算定経費見込6億85百万円・包括算定経費見込2億58百万円 公債費見込1億68百万円			
② 基準財政収入額見込	<u>1億60百万円</u>	(30実績比	△6.4%)
→前年度収入額からの推計			
③ 臨時財政対策債見込	<u>31百万円</u>	(30実績比	△11.4%)
→地方債計画上は対前年度比△3.6%			
④ 普通交付税の予算計上額	<u>9億20百万円</u>		
→31当初予算比 △28百万円 (△3.0%)、31実績比 △46百万円 (△4.8%) 地方財政計画上、地方交付税の総額は対前年度比 2.5%			

令和2年度の主な取り組み

〔◎は令和2年度新規事業、○は継続事業〕

1 次世代につなぐ人づくり・村づくりの推進

就学・就業環境の充実や改善を図り、若者の村内定着やU I J ターンの促進等に努めるとともに、結婚・出産・子育て等、ライフステージに応じた支援を通じて、子どもを産み育てやすい環境づくりに一層力を入れます。

また、本村の経済や産業の活性化、地域生活を支える人財の育成・確保や、未来を担う子どもたちの育成に取り組みます。加えて、公共施設・インフラ更新問題・ICTを活用した新たな農林業の取組に適切に対応しつつ、次世代につなぐ人づくり・村づくりを引き続き推進します。

○ 学力向上への取り組み（教育総務課） 24,120 千円

教育の情報化、教職員の資質向上、中学校における民間塾と連携した村営塾の実施、村雇用講師やALT等の配置により、小中学生の確かな学力の向上を図ります。

○ 若者世代への支援体制の展開（むら創生課） 11,100 千円

若者に自然との共生によるまちづくりや歴史、文化を生かした観光等について学んでもらうため、明日への翼事業を実施します。

◎ 産業のICT化成長戦略（農林振興課） 3,181 千円

人口減少対策に対応したICTを活用した新たな農林業（スマート農林業）を推進し、村の特産品であるゆずの生産振興を図り、条件の良いゆず園を次世代に繋げていくため、作業受託組織の育成や改植等の基盤整備を支援します。

2 関係人口の創出と観光・交流の拡大

豊富な自然や食材、伝統文化等、本村の多彩な地域の魅力を県内外に向けて発信し、交流人口の拡大や地域と継続的なつながりを持つ関係人口の創出を図るとともに、受入態勢の強化等による移住・定住の促進に一層努めていく必要があります。

本県での国文祭・芸文祭や2巡目国体等を絶好の機会として、近年急増するインバウンド需要をしっかりと村内に取り込むため、多様化する旅行ニーズへの的確な対応や受入環境の整備充実に努め、観光・交流の拡大等につなげます。

- 新たな観光交流拠点の整備（むら創生課） 72,633 千円
宿泊施設を核とした村の活性化促進とインバウンド対応として、双子キャンプ場の再編を行い「カリコボーズの宿」づくりを進めます。
- 民俗文化財の保存及び活用（教育総務課） 4,143 千円
平成 29 年 3 月に選択指定を受けた「米良山の神楽」について、関係自治体と連携を強化し、保存伝承に努めるとともに、国民文化祭を機に神楽団体の交流を推進します。
- 地域の情報発信（むら創生課） 28,213 千円
地域の魅力ある観光資源を生かした全村的な観光地づくりを推進するため、「米良バイト」の積極的アピール及び活用や、インバウンド対策に係る施設整備及びPRを実施します。

3 安全・安心な暮らしの確保

近年、自然災害が激甚化する中、ソフトとハード両面からの防災・減災対策等を進めるとともに、公共インフラの適切な整備や維持管理、地域の絆やネットワークの強化等によるコミュニティの維持・活性化や地域交通の維持を進め、安全で安心な暮らしが確保され、将来にわたって住み続けられる村づくりに取り組めます。

また、村民が健康で長生きし、安心して活躍できる環境づくりに向けて、人財の育成・確保を含む地域医療・福祉の体制充実を図るとともに、健康寿命の延伸等に向けた取り組みをさらに強化します。

- 必要不可欠なインフラ（道路、橋梁等）整備の推進（建設課）
村民生活や経済を支える強靱な基盤を構築するとともに、安心安全な道路橋梁整備、災害に強い村づくりを実現します。
令和 2 年度は、林道橋梁長寿命化測量設計（33,000 千円）、村道路網維持管理事業（10,250 千円）、村道単独改良工事（3,000 千円）、村道橋梁長寿命化修繕事業（50,000 千円）等、計画的な保全・更新、維持管理により、安全性の確保、長寿命化を図っていきます。
- 消防活動用備品の点検更新（総務課） 6,195 千円
消防団活動の安全性を高めるとともに、地域防災力の充実強化を図るため、各種備品を整備し、新たに本部小型ポンプを更新配備します。

◎ 防災・減災対策と国土強靱化への対応（総務課） 2,292 千円

新地域防災計画と諸計画等の関連性の確認や、各課・消防等との調整を進めながら、計画の適正な管理運用を行い、安心安全な住民生活を確保します。また、新ハザードマップの活用の周知徹底を行います。

○ デジタル防災行政無線の整備等（総務課） 89,707 千円

災害発生時等に迅速に情報伝達を行うため、防災行政無線をデジタル化するとともに、戸別受信機能を持つ次期ホイホイラインに順次更新します。

社会福祉・高齢者福祉対策・健康づくり対策

令和元年10月から税率が引き上げられた消費税の引上げ分の地方消費税収（社会保障財源化分）については、次の社会保障政策主要事業に充当します。

（歳入）

地方消費税交付金（社会保障財源化分） 8,000 千円

（歳出）

社会保障4経費その他社会保障施策に要する経費（福祉健康課）

○ 西米良村社会福祉協議会運営補助金 20,632 千円

社会福祉協議会の運営に対し補助金を交付します。

○ 敬老事業 3,710 千円

各地区で実施する敬老会への運営補助金を支給するほか、敬老年金（80歳以上10千円、90歳以上30千円、100歳到達者300千円）を支給します。

○ 独居老人見守り事業 501 千円

テレビ電話（ホイホイライン）利用、臨戸訪問により独居老人の健康状態の確認と見守りを行い、孤独感の軽減や心身の健康の維持を図ります。

○ 高齢者等買い物支援事業 630 千円

外出困難者や自宅近隣に商店等がない65歳以上の高齢者を対象に、日常生活品や食品の配達を行います。

- 子育て支援医療費助成事業 1,920 千円
高等学校卒業までの子どもたちの医療費を無料化します。子育て世代の経済的負担軽減、定住化の促進を図ります。
- 高校進学等支援事業 8,640 千円
高等学校等進学時における保護者の経済的負担を軽減するため、月額 30 千円の就学支援手当を支給します。
- 西米良村子育て支援事業 5,164 千円
未就学の子どもを持つ家庭に対し、子育て支援券（子ども一人につき月額 8 千円）を交付します。
- 西米良村出産祝金交付事業 1,500 千円
村内在住者が出産した場合、第 1 子 50 千円、第 2 子 150 千円、第 3 子 300 千円、第 4 子以降は 100 千円ずつ加算した額を祝金として交付します。ただし、定住見込みのない者については一律 50 千円。
- 妊婦・乳幼児健診事業 1,621 千円
安心して出産が迎えられるよう妊婦健診の積極的な受診を促します。乳幼児についても健全な発育・発達をサポートするため各種健診費用を助成します。
- 一般各種健診事業 12,280 千円
各種がん検診やドック等の一般健診事業を実施し、村民の健康管理を推進するとともに医療費の抑制を図り、元気な村づくりを推進します。
- 予防接種事業 4,815 千円
疾病の感染、発病、重症化、まん延を予防するため、定期予防接種、インフルエンザ、肺炎球菌、おたふくかぜ、水痘、風しん等の予防接種費用を助成します。
- 西米良村安心出産助成事業 775 千円
妊婦健診、妊娠に起因する保険診療等について、自己負担分を助成し実質無料化を図るとともに、出産準備品もプレゼントします。